

第4回 加美町総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年3月4日(火) 午後1時から午後2時40分
- 2 開催場所 中新田公民館 ホール
- 3 出席者 26名

○加美町総合計画審議会

学識経験者 (宮城大学事業構想学群 教授)	平岡 善浩	会長
同 (前町代表監査委員)	小山 元子	副会長
同 (町農業委員)	杉村 昭宏	委員
公共的団体 (加美町よつば農業協同組合)	後藤 利雄	委員
同 (町社会福祉協議会)	早坂 家一	委員
同 (町区長会)	佐藤 宮男	委員
同 (町スポーツ協会)	早坂 こずえ	委員
同 (町文化協会)	渡邊 哲	委員
同 (町婦人会)	本多 洋子	委員
同 (町交通安全母の会)	小林 貞子	委員
一般町民 (町観光まちづくり協会)	佐々木嘉昭	委員
同 (にぎわいづくり委員会)	高橋 庸介	委員
同 (町PTA連合会)	今野 英俊	委員
同 (子育て世帯)	田中 草太	委員
同 (子育て世帯)	小山 久美子	委員
同 (子育て世帯)	松本 結依	委員
同 (町地域おこし協力隊OG)	岸田 紗季	委員
同 (加美商工会女性部)	佐々木 奈緒美	委員
同 (加美商工会青年部)	大沼 宏伸	委員
同 (小規模保育施設)	澁谷 とも子	委員
同 (町畜産公社)	今野 聖子	委員
同 (農業法人 KAMIX)	近田 利樹	委員
同 (中新田高校卒業生)	伊藤 絵美	委員
同 (中新田高校卒業生)	伊藤 千紘	委員
同 (中新田高校卒業生)	早坂 龍柊	委員
同 (中新田地区)	宮野 謙	委員

・欠席者 4名

加美町教育委員会	野村 清正	委員
学識経験者 (東北大学 名誉教授)	牧野 周	委員
公共的団体 (加美商工会)	松倉 裕樹	委員
同 (加美郡医師会)	鈴木 潤	委員

4 説明のため出席した者

○事務局

企画財政課	課長	内海	茂
同	参事兼課長補佐	太田	裕二

○委託業者

国際航業株式会社	小山	久美
同	増戸	保明
同	元吉	裕樹

5 議 事

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議事

1) これまでの経緯【資料1】

→ 概要は以下のとおり

2) パブリックコメント実施結果について【資料2】

→ 概要は以下のとおり

3) 第三次加美町総合計画（案）について【資料3】【資料4】

→ 概要は以下のとおり

4) その他

→ 概要は以下のとおり

6 その他

3月13日に答申手交式、3月28日の臨時議会で第三次加美町総合計画を上程、議決となる予定

7 閉 会 午後2時40分

議事1 これまでの経緯について、資料1に基づき事務局より説明。
→委員から異議なく、承認された。

会長 ありがとうございます。お気づきの点があればですね、またご意見ご質問いただければと思います。それでは議事1については終了し次の議事2、パブリックコメント実施結果の説明を事務局側よりお願いします。

議事2 パブリックコメントの実施結果について、資料2に基づき事務局より説明。

会長 はい、ありがとうございます。先だって実施されましたパブリックコメントの実施結果についてご報告いただきました。町民の方からですね、こういうご意見をいただくというのは、非常にありがたい、貴重なことだと思います。今のご説明の中で皆様から何か確認事項ですとか、ご質問等ございませんでしょうか。はい、お願いします。

委員 2ページ目のNo2の部分の4行目に「加美町で住める町営住宅等はかなり少ない～」という表現がありますが、宮崎地区、旧宮崎町には3階建ての町営住宅があり、ほとんど空いています。中新田の町にしか住めないという方であれば特別でしょうけども。恐らくですね、いたるところに空家があるんだろうと思いますので、その辺については確認して、このパブリックコメントを出した人に教えて下さい。下小路1の3階建ての住宅、今ほとんど空いています。

事務局 ご意見ありがとうございます。確かに町営住宅でもですね、すごく集中しているところですか、やはり老朽化とかで、部屋を閉じているところがあります。改修費用の年次計画で公営住宅の管理計画というものがございまして、年次計画に基づいて住宅の修繕の方も行っていきます。

確かに委員がおっしゃる通り、そちらの方の住宅も空いています。ただ自然に空いているところもあれば、どうしても使用に堪えがたい状態のものもありますので、年次計画に基づいて修理の方を行っているというような状況でございます。パブリックコメントについては既にホームページ上でお知らせをしておりますし、個別の回答は、基本的には行わないという前提で実施していますので、ホームページを確認していただきたいということで、お知らせしたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いいたします。

会長 今のお話は町の考え方については公開されているということでしょうか。

事務局 はい。

会長 今のNo2の方のご意見が、資料右側の「町の考え方」の2段落目ですね、「現状と課題にお示しした通り、立地のバランスなども考慮の上～」とあり、この部分が、今仰った問題意識の部分を向上していくという回答になると思います。特にこれに伴って本文を修正したということはありませんでしょうか。

事務局 ありません。

会長 わかりました。他にいかがでしょうか。いくつか「町の考え方」の回答のところ、計画本文に盛り込みますとか、文章等の修正を行っています、というものがありますが、これを受けて修正箇所がいくつか出ているかと思しますので、それについては後ほど説明があるかと思します。

他にいかがでしょうか。ないようでしたら次の議題に進めさせていただきたいと思します。

議事3 第三次加美町総合計画（案）について、資料3、資料4に基づき事務局（参事兼課長補佐）より説明。

会長 はい、ありがとうございます。ただいま資料3のこの冊子と、資料4の変更点につきまして二つ対称しながら、ご説明をいただきました。ほぼほぼこれで完成版ということですが、中に入る図版とか写真については多少入れ替えがありますでしょうか。

事務局 そうですね、若干の修正、微調整はあるかと思します。写真のこのページちょっと薄いんじゃないかとか、あと仮の状態の写真を入れているページもありますので、その入れ替えがあるかと思します。

会長 わかりました。ほぼほぼ内容についてはこの状態ということですので、どのようなご意見でも構いませんのでなにかございますか。はい、お願いします。

委員 まず、町長さんのごあいさつの4行目の「～大変悦ばしいことであるとともに～」の部分の「と」が一つ抜けています。それから、その前の町民憲章ですが、せっかく1ページを使って載せるのですから、もう少し大きくした方が良くないでしょうか。これでは小さいと思しました。「(平成十七年二月二十五日制定)」は、この文字ポイントでもいいですけど、もう少し大きくしてほしいと思します。ダイジェスト版で、各家庭に10年も保存されるものですので。あとその下の写真ですけど、薬菜山の頭を垂れた刈穂と、カヌーレーシング場辺りから撮った写真がありますが、せっかく町の花、町の木、町の鳥、町の魚がありますし、今までの町民憲

章だと必ず載っていたので、それを載せた方が良いと思います。各家庭に配布するのであれば、なおさら載せて欲しいと思います。

会長 はい、確かに仰るとおりでございます。事務局側からいかがでしょうか。

事務局 はい、ご意見ありがとうございます。ご指摘いただきました町長あいさつの4行目については修正させていただきます。また、前のページの町民憲章の部分ですが、こちらについても大きさ等を修正させていただきたいと思います。また写真についてはこの冊子上で、できる範囲でやらせていただきますが、ダイジェスト版と冊子は、別物になります。冊子は町民の皆様には配布せず、ホームページに掲載したりします。それを要約したものがダイジェスト版ということで、今想定しているのは、A4版の4つ折りのだいたい8ページから10ページのものを印刷でお配りしようかというふうに計画をしております。ですので、この冊子が配布されるというわけではなく、この部分のダイジェスト版ということでお配りするような形で想定をしております。冊子版を配布するのは、委員の皆さんと、あとは役場の方で、取り置きが何冊かあるというような想定です。あとは、ホームページで公開をします。写真につきましては、ちょっと調整をしていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

会長 はい、ありがとうございます。そうですね、せっかく10年の計画なので町花とか町鳥とかですねその辺がきちんと載っていた方が共感しやすいかもしれないですね。貴重なご意見ありがとうございます。他にいかがでしょうか。はい、お願いします。

委員 まず1点目。表紙と裏表紙の関係について、裏表紙に「加美町に自信あり」という赤字のロゴがあるのですが、これはぜひとも表紙に持ってきていただきたいと思います。広報かみまちにも、「加美町に自信あり」というのが表紙に入っていますので、町民が自分たちの町に自信をもってやっていただきたいというのも含めて入れていただきたいと思います。裏表紙にあると寂しいような気がしましたので、ぜひとも表紙にもってきていただければなというのが1点目の提案です。2点目は第6節の132ページですが、一通り目を通させていただきました、下から3行目に「～個々の性に関する問題（LGBT）～」とありますが、今ですと、LGBTQの「クエスチョニング（Q）」まで入っていますので、そこを入れていただければなと思いますがいかがでしょうか。その二点について目を通させていただいた際に出た気づきの点です。

会長 はい、ありがとうございます。今二点ご指摘いただきましたが、まず1点目の方について表紙の方に「加美町に自信あり」のロゴを持ってきてはどうかというご意見ですが、いかがでしょうか。

事務局 はいご意見ありがとうございます。2点目のLGBTについては、LGBTQということで追加させていただきたいと思います。1点目の「加美町に自信あり」という部分について、表紙にもってきてほしいということですが、我々も最終的には考えましたが、表紙に今、「ぼのぼの」さんが入っています。「小さいのではないか」と思われるかもしれませんが、キャラクターの大きさや比率に細かく指定があるためです。この「ぼのぼの」さんも版権的に、表紙の小さいところに黒文字で竹書房やエイケンさんということで、版権さんのご都合ということで、「ぼのぼの」さんを引き立たせてほしいというご要望もありましたため、今裏面の方に「加美町に自信あり」のロゴが入っているというような状況になっています。つまり他の何かデザインされたものが「ぼのぼの」さんのキャラクターが入っている表紙の中に入れないで欲しいというようなご意向が版権さんの方からの確認が取れていましたので、現状ではこのような形になっています。

委員 「ぼのぼの」の中に「かみ〜ご」を一つ、二つ入れることはできないのでしょうか。加美町の計画でせつかく加美町のキャラクターがいるのに。それは難しいということでしょうか。

事務局 確かに、「かみ〜ご」はテレビ、漫画の方で既に出演をしているということで、版権さんとの調整も今後、続けるやり取りというものもありますので、可能であれば入れていきたいと思います。ですので、交渉する時間をいただきたいと思います。また、「かみ〜ご」は裏表紙の他に計画の本文の中にもところどころに顔だけ出しているページもございますので、そこはたぶん問題ないかなと思います。表紙に入れるか入れないかについては版権さんと調整させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会長 その辺を調整いただくことが可能ということでしたら、委員の皆様が言う「加美町に自信あり」のロゴの方が、表紙にあった方が良いのではということですよ。ですので、表紙にあるこちらの町章が裏表紙のところに入れるかということになると思います。確かにに表紙の方に「加美町に自信あり」のロゴがあった方が、メッセージとしてははっきりするような形ですね。「かみ〜ご」と「ぼのぼの」のキャラクターを一緒にするというのは、交渉次第かもしれませんが、ちょっと難しいかもしれないですね。

事務局 ちょっと、難しいかもしれないです。ただ交渉はしようと思います。

会長 確かに表と裏に分かれるというよりは、そちらの方が理想的かもしれませんね。他にご意見ございますでしょうか。はい、お願いします。

委員 私から2点お聞きします。まず何回目かの審議会の際にもお話したのですが、96ページに関連する、特に林業振興について、林業者の力が非常にない現状の中で、どのような方策があり得るのかということをお話しました。部分林、現在45町歩、再造林をして木を植えています。いずれ町の方には寄付をするということで現在進めているわけでありまして、40年後になればおそらく2000万円ぐらいの価値になるだろうと思います。どのような方法でやっているのかということですが、私達はやれません、はっきり言って。やはり地元の企業、そういう企業を有効に使って、加美町の7割は山ですので、山を広域に活用して、CO2を削減して、カーボンニュートラルに近づけるような方策を講じていただきたいということで、文言に「官と民間企業との連携を図る」ということを入れてほしいということをお話したのですが、計画書の内容をみますと、ないんですね。ただかろうじてあるのは137ページ、「民間資本や活力の活用」という言葉になっているのですが、やはり山関係については、96ページの(7)林業の振興の「216)」の下でも良いので、そういう言葉を入れてほしいと思います。

それから2点目、137ページになりますけれども、前にもお話ししましたが、やはり財源ですよ。これだけのものをやるとなると、補助事業だけの対応では不可能です。当然他の事業が大きくカバーする部分になるだろうと思いますし、町長が提案している日本一というのほどこもやっていないことなんですね。満足度は、これは個々の判断によりますから、いいわけでありませぬけれども、日本一という垂れ幕を下げる限りは、財政がしっかりしていなければならないと思います。施策の方向性には、「町税の滞納繰越額を圧縮し」という文言、それから「自主財源を確保」という言葉がありますが、前にもこれも話したんですが、やはり加美町の資源は「風」だと。「風」は「資源」であり、「資源」は「財産」、「財産」は「自主財源」という、そういう言葉をどこかに載せていただければと思います。環境審議会では載せていただき、町長への答申もしています。ですので、やはりそういう資源を有効に使っていく、恒常的な自主財源が必要でありますので、その辺も少し文言として入れてほしいと思います。

会長 はい、ご意見が2点ございますけれども、まず1点目は、林業振興に関して民間資本をどのようにしていくかというポイントを、どこに文言をいれていただけないかということと、財源確保の意味を含めて、自然を使ったエネルギー政策といえますか、財源確保に繋がるような施策を入れられないかということですが、その辺について事務局側いかがでしょうか。

事務局

はい、ご質問ありがとうございます。林業振興の部分につきましては、民と関わるといふことについて、いただいたご意見を預らせていただいて、検討させていただきたいと思います。また文言を入れるというのは確かに仰るとおりではございますが、今、担当課の方の実施計画で具体的な事業の照会ということで、取りまとめ作業をしておりますので、こういったご意見があったということも当然、担当の方にお伝えした上で、具体的な事業としてですね明記するように、そのような対応もしていきたいなというふうに考えております。

また財源についてですが、現状ですね、特に冊子でも137ページの健全な財政運営の推進というところで、加美町はいわゆる地方交付税、国からの交付税で頼っているところが非常に大きい自治体だということですが、その辺の財政計画というようなものについて、今回の総合計画と同時に、前の協議でご説明しました新町建設計画の変更作業をしております、そこに財政計画の明記の方をしております。ですので、今後庁舎を建設するときもその延長する財政計画の方にも盛り込んでいますし、また前回、皆様方に提示した部分で138ページの「(3) 財政基盤の強化」というところで、補助金、国県からの補助金で事業を図る。あとは特定基金のような、特定の事業に対して貯めていたお金で行っていく財源の確保をしたり、また加美町はいわゆる過疎地域でございます、過疎対策事業債と国からの有利な借金を借りています。また合併市町村になりますので、合併特例債という非常に有利な国からの借金を借りて事業を行うことができるという、そのような財源の確保というのを明記しております。あとは当然その歳出の削減というの図らないといけません。また説明が不足しておりましたが、ふるさと納税、つまり税外収入の部分の強化についてももしっかり取り組んでいかなければならないと考えており、今ふるさと納税が年々税収増になっており、昨年度比ですと2億4千万円ほどふるさと納税の方でいただいています。その辺のレベルアップといいますか、そのような意味も含めて施策の文言として提案させていただきました。また財源的なものは恒久的な課題になるかと思っておりますので、貴重なご意見として頂戴させていただきたいと思っております。

委員

事務局から回答がありましたけど、やはり担当課のみならず、こういう計画書に1行でもいいので、載せていただきたいというのが偽らざることですので、その辺は考えていただきたいと思っております。そして後段お話がありました財政基盤の強化、恒常的な財政基盤を構築していくというのがこの加美町の今の最も重要な課題だと思います。また新庁舎問題で30億円という計画で進んできましたけれども、おそらく倍だろうと思っております。60億円。そうした場合に使えるのは財政調整基金と合併振興基金、調査整備基金しか使えません。ただ合併債は7割が地方交付税で戻ってくるということになりますけれども、この地方交付税の将来展望は人口が減るといふ算定が必ず入ります。そういうものがだんだんなくなってくると、地方交付税も落ちていきます。そういう将来予測から財政展望も描いてほしいと思っております。あ

と、ふるさと納税については昨日も日本の農業新聞にもあり、「ふるさと納税ゆがんだ実態」という記事で載っていました。いずれふるさと納税も見直しを受けるだろうということから、ふるさと納税だけに頼るのではなくて、多方面から財産が入るような工夫をしてほしいと思います。

会長 はい、ありがとうございます。今のお話のところは137、138ページあたりのところで、事業として具体的に検討していただきたいということになると思います。他にいかがでしょうか。それぞれのお立場から様々な視点があると思いますので、ご意見いただければと思いますけど、中新田地区商店街にぎわいづくり委員会の委員いかがでしょうか。

委員 特にありません。

会長 わかりました。では、町PTA連合会の委員いかがでしょうか。特に気になるところとか、ありますでしょうか。

委員 今のところはありません。

会長 わかりました。では、加美商工会女性部からご意見いかがでしょうか。

委員 特にありません。

会長 わかりました。では、町畜産公社からご意見いかがでしょうか。

委員 特にありません。

会長 わかりました。では、中新田高校の卒業生の皆さんが来ていただいているのですが、内容について気になっているところとか、ご意見等ありますでしょうか。

委員 特にありません。

会長 わかりました。では、委員からなにかございますでしょうか。

委員 はい、全体を見回してみても、これからのいわゆる実施計画との関連が当然出てくるというのが前提ですけど、ここにラインナップされている内容の中で、基本的に今進めようとしていることと、町が考えていることの中に齟齬がないだろうかということをおもいました。つまり、総合計画というのは何のために今回策定したのかという、ある意味で当たり前のことなんですけど、それを考え直すときに町民のため

のものでもあり、もう一つは役場側の問題でもあるというふうに考えたときに、どうしたいのかというのが、実はよく見えてこないのではないかと。ちょっとここから先は勝手なことを言わせていただきますと、宮城県内の数多くの自治体がありながら、加美町のランキングはどのくらいなのかと。つまり、仙台市があってその下にいくつかの市がラインナップされていて、次は町の方まで降りてきたときに、加美町はどのようなランキングにあるのかと。なかなか言いにくいことではあるんですけどそんなに高い町にはなっていないはずなんです。全体を見回して次に、これからの10年の中で、そのランキングの中で本当にレベルアップできるのかというふうになると、なかなか難しいのかなと。それは役場側の方の考え方も当然あるんですけど、町民側の方も良くしたいと。また町長がおっしゃるように、住民満足度100%というのはちょっと意味が違うだろうと、つまり調整する側と住民の感覚とていうのがぴったり合うということは基本的にないわけで、今後いろんなことをやっても、全て最高ですねというような評価がくだされることはどう頑張ってもないわけです。その中で、できるだけ近づけようと、町民の求めるものと町が進めるものが合致するようにできるだけ合わせようという焦点合わせみたいなのがどうしても出てくると思うんですけど。その中の目標は宮城県に住んでいる町のランキングを見たときに、どこまで上がりたいと思っているのかという、これは町民の意識も当然あるんですけど。つまり今、土地の条件、交通条件いろんな条件を見たときに、我々は仙台市並みにということは、どう考えても難しいだろうと。するとどの辺までレベルアップしたいのかというようなことも当然問われてくる。それが今度はこの総合計画をもとに実施計画に落とし込まれたときに、次にどういうものが出てくるのかという本当にそこに期待するしかないのかなと。つまり、町民1人1人が頑張ったからといってすぐレベルアップするものでもないだろうし、やはり役場職員の方の全体の政策も含めてやるんだだろうと。今回私、3回、4回の審議会を通したときに、ここから先は勝手な言い方かもしれませんが、役場職員がどれだけ本気なのかというのを、ちょうど見るのにはいい機会かなということがありました。今本気ではないと言うつもりはないんですけど、この本気を目指す方向がどこまであるのだろうかというのがちょっと気がかりです。これから新しい事業も始めたり、いろんなことをしていくわけですけど、これからこの総合計画にある10年間の中でそれをどこまで実施できるのかと、前回の10年とはまた違うものにどこまでレベルアップできるのかということ、見ていきたいなと思います。様々な産業分野でいろんなこともありますし、町民の生活の中でもいろいろありますので、全て同じようなレベルアップというのは難しいんですが、どうしていくのがはっきり示されていくことは、絶対大事だろうと思います。ここから先また勝手なことを言わせていただくと、今回総合計画でいろんなプランの中で、ちょっと誤解されたのではないかと、つまり政策を進めることと、町長が仰っているんですけど、プロモーションすることはイコールではないんですけど、プロモーションすることの方が先だよねというようなイメージで捉えられたりしてないのかなというのが気がか

りです。多くの人に町を知ってもらい、多くの人に来てもらう、例えば産業に落とし込んだときは観光にというように、ルートを作るのはいいんですけど、プロモーションと政策は意味が基本的に違うだろうと思います。そこのところのすり合わせみたいなことをですね、ぜひ役場職員、役場内部で、もう少し詰めていただければと思います。我々、今回で役割御免ですので、そこに直接関わることはないんですけど、もう少しこれは要するにプロモーションするんだよねというのと、政策としてちゃんとした成果を出したいんだよねというあたりの整理をしないとどこまでいくのかという分裂気味になったりしないのかなというところがちょっと気になりました。

会長 ありがとうございます。そうですね、今の全体像が細かいところまで見えてきたときに、今仰った本当に町がどういったことをやっているのかというのをアンケートを見ても住民の皆様方に伝わっていないし、それを今回議論した中で具体的な政策まで落としていくというところの計画ですので、その辺の二つにずれがあったり乖離があったりということですね。これを基に、行政の部分で今後の具体的な実施計画、事業計画に入っていくと思いますが、その辺も落ちていかなければいけないと思います。すいませんそれに関連してですね、気になったところがありまして、43 ページで計画の推進のためというところに図があるんですけど、町民と議会と町となっていますが、この町というのがわかりにくいかなと思いました。これは町と書いてあるのは行政ということですか。町＝行政だというのは、町民の皆さんに伝わるのかなというのがありました。みればわかると思いますが、その辺はあんまり議論していないんですけどどうでしょうか。逆に議会なら行政という方法もあるかと思いますが。

事務局 そうですね、いわゆる町が行政という意味で良いと思います。

会長 ここが町民、議会、行政として連携先が自治体等という、この中に民間企業を含むということですかね。

事務局 そうですね。

会長 そうなりますと、もう少しこの図を整理した方が良いかもしれませんね。すみません今になって気になってしまったのですが。町というと行政を指すということもあるんですけど、本当に町という領域を示すこともあります。これについてはまた後程調整しましょう。以前に今後の計画の推進のためというところですね、皆さんからご指摘があったところに繋がると思います。

委員 すいません、要望なのですがよろしいでしょうか。

会長 はい、大丈夫です。

委員 42 ページの土地利用の基本構成のイメージ図の中で、加美町の地図がありますが、本当に要望です。青い線を引いてもらえればいい話なんです。河川の部分で鳴瀬川と田川が入っていて、これくらいの縮図だと、自分が住んでいる 1 級河川の多田川をぜひとも北方面にいれてもらえないかと。本当に些細なことなんですけど、これくらいの縮図でしたら、たぶん多田川は出てきてもおかしくないんじゃないかなと、1 級河川なので。1 本青い線を出していただければという要望です。

事務局 はい、調整できるとのことですので、お受けしました。

会長 そうですね、38 ページから 42 ページまへの土地利用構想のところはあまり本会議ですね、細かいことはみなかったので、ご指摘いただきましてありがとうございます。他にいかがでしょうか。では先に委員からお願いします。

委員 33 ページの基本理念のところ、前回初めて出てきたので私自身も読み込みが少しかけていなかったんですけど、和と美のまちづくりの右側にある「空間・時間・人間」と書いてありますが、こういう言葉を並べるときというのはやはり、人が先に来るのではないのかという、今頃言ってもですけども、そのような気がしました。あと全体に言えるのですが写真がですね、人の写真を使う場合はその方の了解をもらうということが必要なかもしれないのですが、非常にお子さんの写真とかとてもいい感じで生き生きしているんですけど、もう少し活動している人の写真や、生き生きとした町を表現するような方がいいのではないかなと思いました。表紙に「たのしく げんきな みんなのかみまち」とある割には出てくる写真がすごく暗くて、薬菜山とか風景は無難ではあるんですけどそれは美しさということで、そのまま置いといてもらいたいんですが、何か人が作業している写真とかあったり、すごく生き生きとしてないので、もう少し何か選択していただければなと思いました。

会長 はい。ありがとうございます。1 つ目のご指摘は 33 ページのところの順番の入れ替えがということですね。この三つが出てくるのは町長のところと、この 33 ページですよ。この人間という人の要素を先に書いた方がいいのではないかとのご意見ですね。そこについてはいかがでしょうか。その下の丸の三つの順番も入れ替えるかという話ですね。

事務局 ご意見ありがとうございます。確かにおっしゃる通り、人が最初だということで、「加美町は、雄大な自然が生み出す肥沃な耕土が育んだ食に恵まれた町です。」というのがいわゆる意味としては空間になる。あとは、「加美町は、深い歴史が紡

いだ文化と芸術が受け継がれるとともに、新しい未来が花開く町です。」というような感じで時間を指している。そして「加美町は、熱い息吹が木霊（こだま）する、魅力と活力に溢れる人たちが暮らす町です。」で人として例えているということなので、並びとしては上から空間、時間、人間ということで、このような表記をさせていただきました。会長の方からもですね、この件については以前ご意見の方いただきましたので、このような形でお示ししています。

会長 はい、下の3つの丸と合わせて最初にもってくることも可能ですよね。一応こちらは町長が確認済みということですので。

事務局 すいません、一応ですね、このような形で2月に議会がありまして、また新年の広報でも、この順番になっているという事実もありますので、こちらの空間、時間、人間の順番については、このままでご了解いただけないかと思っています。

会長 はい、一応この順番については通ったということで。また写真の件については、各課に要望中という段階でしょうか。

事務局 写真につきましては、私どもの方で町の広報とか、あと事務局長さんをお願いした観光まちづくり協会の写真データを提供いただきました。また会長さんの方からも写真提供をいただいております、あと学校や認定こども園、いわゆるプライバシーポリシーの同意をいただいている写真について直接データをいただいております。写真は結構あるのではと思われがちですが、意外となくてですね、いろいろ見ているのですが、なかなかヒットする写真というのがないですけど、写真等、もう一度ファイルを見返しながら元気が出るような写真を1枚でも多く入れられるように、残りの時間があまりないですが、その中で作業の方をしていきたいと思えます。それで、もしこの場で大変恐縮ですけども、良い写真を持っているというような、自前の写真がありましたら、私までご連絡いただきたいというふうに思えます。風景画でも確かに薬菜山とか虎舞とか、切込焼きとか、そういうのも確かに無難といえば無難というのは事実でございますので、その人の活動における楽しい写真というものを、確かに言われてみればそうだよねというような思いがありますので、もしまた写真をご提供いただける委員さんがいましたら、事務局までご連絡いただきたいと思えます。

会長 はい、ありがとうございます。ぜひですね、ご協力をいただければと思います。中新田高校の卒業生の皆様からも何か提供できる写真がございましたらお願いいたします。それでは他にいかがでしょうか。はい、お願いします。

委員

はい、すいません。61 ページに関連することなのですが、これ前回の会議の際にあった子育て支援を一番目に上げていただいております。やはり加美町の急がなければならない喫緊の課題はこれだと思います。なぜかといいますと、2060 年には加美町は八千人の人口になり、宮崎地区は二千人、小野田地区は二千人、中新田地区が四千人というような人口構成になるんじゃないかと思いません。高齢化率は70%ということから、この子育て支援をやはり第一優先に喫緊の課題として、取り上げていかなければならないと思っています。先般の議会の時にも町長は雇用の創出、子育て支援の充実と教育力の向上、高齢者および障害者、弱者に対する福祉政策の充実ということで、2 番目にしているのですが、やはり加美町は一番目にもっていかねばならないので、実施計画に当たっては、その辺、十二分に協議いただければと思います。そして、子育て支援日本一になるのは、やはり岡山県の奈義町というところ、ここはもう日本一ですよ。子育て日本一、2.95 人。出生率でいうとですけど、育てる環境では日本一です。この奈義町を超えなければ日本一にはなれないということですから、いろんな多方面からの財政を確保しながら、町事業でさらに上乗せて、国の制度は、日本全国同じパターンでしかありませんので、この町独自のものという、そういう単独事業として取り組めるような財産確保を考えていただければと思います。そしてですね、この子育て支援の中でさらに大事なものは、企業関係ですよね。働く場所がないとなかなか人は来ないということで、これ企業関係については何ページかにありましたが、企業関係で、ワーキングヤツたとき、古川から山形に抜けるような高速道路の構想なんかは、誰か話題にしましたか。夢のある発想、誰も考えない、古川から山形まで高速で行ける、そういう道路の整備というような話があったのかどうかだけ参考に聞かせてください。

事務局

はいありがとうございます。まず子育て支援の充実の順番を入れ替えしたところでございますが、今町の方でも学校給食費の無償化ということでは令和6年度から始まっております。また先の国会でもですね、国における無償化の動き、あるいは高校教育費の無償化ということが国会でも議論されておりますので、地方の取り組みが、地方の声というものが国にも届いているのかなというふうに報道を拝見させていただいております。また、道路についてなんですけども、ワーキングの中ではそういった意見というのは、私が記憶しているところではございませんでした。

委員

わかりました。やはり道路の整備というのが一番大事なんですよね。そういう道路網のアクセス関係がしっかりしてくると、企業が入ってくる、人も来るというふうになりますから、やはり夢ある構想なんかも盛った、議論が欲しいなと思います。そして先ほどちょっと言い忘れましたが、学校給食にしても、子育て支援する家庭の方々についても同様だと思うんですが、農協がしっかりしている。例えばですが、野菜類、ネギ、規格外のものについては全部処分している農家が多いわけで

すよ。そういうものをどんどん取り上げて、学校給食に使ったり、あるいは子育てを一生懸命やっている家庭ともやり取りしたり、そういう農協へ買い上げすることができなかった野菜も、CO2削減に繋げていただければいいなど。ここでの回答は要りませんので、担当課の方にその辺はお伝えしてください。

会長 はい、ありがとうございます。ではそちらの方をよろしく申し上げます。今良い振りをしていただきましたけど、今日は関係する委員もおりますので、ご発言いただきたいと思いますが、何かありましたらお願いいたします。そういう何かお気づきの点とかご意見等ありますか。

委員 先ほどの学校給食の関係なんですけど、規格外の野菜ということですけども、学校給食も実は農協としても食材の提供をやっています。十分とは言えないんですがそれだけでも力をいれないといけないんだろうなということで、私は別の観点からで、先ほど委員から、この計画がプロモーションなのか、計画の基礎なのかという話は、私これは非常に大事だなと思いました。プロパガンダとして言えば、なんですかね、そういう意味でプロモーションは必要であるし、計画の基礎になるときに、総花的にやっちゃってしまうほど何が目的なんだという話になってしまっ見えなくなってしまうということもあるんだろうなと思いました。基本的には、先ほどの施策の、基本計画の六つの柱があって、それらが総合的にどう機能するのかということは、パンフレットなんかにもまとめられているだろうというふうに思いますが、そうしたときに、結局は集約すればですが、仕事と暮らしをどうしていくのかという方向性の独自感がないと、なかなか総花的になってしまうんだろうなという気がしました。要するに加美町というのも、例えば子育て支援にしても、人口対策にしても、V字回復するということは到底できないのではないのかと思います。なのでどこに集約していくんだということの将来像を見定めることが総合的に大切なのだらうと思います。そうしたときに人口はある程度減ってきたけども、加美町はこういう特徴があって、実はものすごい住みやすい町ですよ。先ほどの委員からもあったように、2.95人くらいの出生率があるみたいなまちを目指すというようなことをするべきなんだろうという気がしました。そのための、個人的な話、意見になるかもしれませんが、一番は自助・共助・公助という言葉がありますけど、そのことを念頭としてですね、いわゆる教育格差とか貧困格差とか、そういうものを無くしていく、学校給食だったり、高校無償化ということも結局そうですね。その格差をなくすことが、ある意味平均的な暮らしやすい地域につながるというふうに思いますので、そのことに焦点を絞って暮らしやすい加美町になっているんですよというぐらいの構想が、もうこれには載っていますので、具体的な政策はそういうことを念頭にしていますというような話になっていけば良いのかなという気がします。先ほど言ったエネルギー問題についてもですね、FEC自給圏という言葉がありまして、フード、エネルギー、ケアを自給すると、それが地方都市の今後

の生き方だよというようなことを根底に持ってもらって、これが加美町の将来像だよというところを、もう網羅はされていますので、とにかく核はここだよというところがあるといいだろうなと思いました。

会長　　今までのお話でもですね、最初に出ています、計画書を開いていただいて町長あいさつの次のページにですね、基本計画が6節にわたってありますが、実際に具体的な中身になっていきますと、今回ナンバーはずっと通し番号になっていますので、401の事業展開が出ているわけですね。401の事業展開をずっと見るとそれが全部網羅的にフラットな感じで並んでいるように見えますが、実際はもう少し集中しないといけないところとか、大事にしないといけないところがあるよねという、ご意見だったと思います。その辺のところは次のひと・しごと総合戦略とかでちゃんとチェックしていくようなイメージですか。実際の事業は。

事務局　　そういった部分につきましては、審議会においては基本構想・基本計画、あとスケジュールもご説明しましたが、議会の議決を経て策定という流れになります。いわゆる役場の中での実施計画の中ですね、各個別の事業というものを策定して毎年検証作業の方を進めていくような、役場内でのチェック作業もありますし、あとは先生が会長を務めていただくひと・しごと総合戦略の中での作業というものも出てくるのかというふうに考えております。

会長　　実は他の町の総合計画ですと、いくつかですね、数値目標をはっきり出して、ここまでやりますというのを出した自治体もあるんですよ。それもまた良し悪しがありまして、本当にそれがこの10年間大事な数字なのかということも変わっているのです。その辺のところはですね、今回はそういった具体的な数値目標は出さずに、かなり広範囲にわたっているいろんなことを可能性が深められるような構成にはなっているかと思います。

他にいかがでしょうか。もうそろそろですね、時間も迫ってきていますので、中身についてのご意見は一旦こちらで締めさせていただきます、まず今日いただいたご意見で細かいところですね、写真のお話ですとか、文言の調整とありますけれども、基本的には本日お示しさせていただいた内容ですね、審議会としてご承認をいただくということによろしいでしょうか。

委員全員　　異議なし。

会長　　はい、ご承認いただきましてありがとうございます。おかげさまで、皆様方からですね、いろいろご意見をいただきながら計画案についてですね、ご承認を得ることができました。御礼申し上げます。今後細かいところでの調整事項がですね、あるかと思いますが、そちらにつきましては、よろしければ私の方にご一任いただ

いて調整をさせていただくということをお願いいたします。それではですね、議事
-4のその他で、答申について私の方からご説明したいと思います。

議事4 その他（答申案）について、資料3（148～149ページ）に基づき会長より説明。

会長 補足な点があるかと思いますが、まずはっきり書かないといけないのは、この計画は妥当であるということと、きちんと実行、進めて下さい、ということです。最終的な文言については、こちらで調整させていただきますけれど、もしこの段階でこれは要らないんじゃないかとか、これは出した方がいいんじゃないかと、答申として、ご意見がありましたら今頂戴したいのですが何かございますか。はい、お願いします。

委員 149ページの「3 計画を推進にあたり留意すべきこと」に関連することなんですが、実施にあたって、一番の問題は、財源ですよ。やはりここにね、財源を一つ加えていただきたいなと思います。「～効率的かつ効果的な事業実施及び事業の適切な進行管理に努めてください。」という次に、文言の修正は構いませんけど、恒常的な財源の確保に努めてくださいとか、そういうようなことを、ぜひ入れていただきたいと思います。財源がないと、これだけのことはできませんし、町長が言う町民満足度100%、日本一だとは言えませんので、その辺はしっかり謳っていただければと思います。そして、どこかの部分に、やはり若い人たちが定住するには、安心感を与えないと定住しませんよね。財政支援をしたり、あと世の中では、電気代が非常に高いので、電気代の3分の2は町で負担するとか、空き家をリフォームするのを全額負担するとか、そういうことをやっていかないと、若い人たちは定住してきませんので、「2 町民主体による「たのしく・げんきな・みんなのかみまち」を実現するまちづくりを行うこと」の「～子供や子育て世代に手厚い支援～」の中に、今のような文言を付け加えていただければいいかなと思います。

会長 はい、わかりました。その辺ですね、ご意見としていただきまして、また事務局の方とですね、調整をさせていただきます。既に今ご意見があったようなことはですね、今回の総合計画の中にもですね、きちんと記載されていて、ここにあることを一緒に実行してくださいということかと思います。逆に言うとあえて何かのことを抜き出して答申に入れると、そこの部分だけ、我々が強調しているような感じになってしまうものもありますので、そこは事務局にですね、調整をさせていただければと思います。他にいかがでしょうか。よろしければ基本方針としてはこの答申の内容でですね、中身を調整させていただいて、それで、町長の方に提出させていただきたいと思います。答申書は最終案が決まったら皆様方に郵送するのでしょうか。少しその部分の手順がわかりません。

事務局 本日の審議会を受けて修正点等も踏まえてですね、13日に答申書、そして冊子の方を町長に提出するということになります。それに基づいて28日の議会への上程、その後、策定の議決後にですね、皆様方に冊子の状態で郵送させていただき、もしくは私が直送するような形をとりたいと考えております。ですので、4月以降になるかと思えます。

会長 わかりました。それでは、ぜひよろしく願いいたします。その他として準備していたのは答申についての1つだけでした。それではですね、以上で今日のご準備しておりました議題については以上になります。皆様から何かよろしいですか。よろしければこのまま事務局の方に進行をお返しします。

事務局 会長ありがとうございました。また本日も委員の皆様にはいろいろとご意見をいただき、ありがとうございました。当審議会の開催につきましては今回で終了となります。委員の皆様におかれましては、お忙しい中1年間にわたり、当審議会出席や職員ワーキンググループへの参加などしていただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。閉会の挨拶を副会長よりお願いいたします。

副会長 本日は第4回加美町総合計画審議会にお忙しいところ参加していただきありがとうございます。ご案内の通り、今日が最終回となりますが、この1年、厳しいタイムスケジュールのもと、このように「たのしく げんきな みんなのかみまち 第3次加美町総合計画」が形になりましたことは、皆様の熱い思いと、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。ありがとうございました。そしてまた、このように取りまとめていただいた事務局の皆様にも御礼申し上げます。ありがとうございます。この町の10年先を見据えたときにですね、この町に住みたい、この町で子育てしてよかった、そして、この町に住んでよかったという思いを共有できますように、これからもそれぞれの立場でそれぞれの職場で、加美町のまちづくりに参加していただければ嬉しいと思います。今日は大変お疲れ様でした。この1年お疲れ様でした。ありがとうございます。

－ 閉 会 －